

会報 (第17号)

目次

特集	2
天皇、皇后両陛下、史上初のご訪ア	
・現地紙にみる両陛下への歓迎ぶり	2
・現地からの手記	4
アルゼンチン政治・経済速報	6
タンゴ物語 (最終回)	9
ブエノス・アイレスの アメリカン・スクールへの入学	11
平成9年度当協会の第41回通常総会の報告	12
文化行事のお知らせ	14
・タンゴ演奏会 他	
・長田小学校の「アルゼンチン友好の日」	
お知らせ	16
・日ア修好100周年記念事業組織委員長決定 他	
人事往来	17



法人団

日本アルゼンチン協会

会報第十七号 一九九七年七月二十四日発行

編集人 野村 秀 透

発行人 渡部 透
千代田区内幸町一ノ二ノ二
日比谷ダイビル一七〇五号室
電話 (三五〇一) 四六八四番
FAX (三五九五) 三九三二番



ビエンベニードス 天皇・皇后両陛下とメネム大統領、スレマ令嬢 (オリーボス大統領官邸) p.3

(写真提供 株式会社共同通信社)

特集：天皇・皇后両陛下、史上初のご訪ア

現地紙にみる両陛下への歓迎ぶり

6月9日（月）付ブエノス・アイレス

○両国関係をより強固なものに：日本の両陛下の訪問

天皇・皇后両陛下が史上初の当国訪問を行う。これは長年低調だった両国関係が最近になって徐々に緊密化してきたことと関連がある。この変化の主な要因は、当国の最近の経済情勢の向上、及びメルコスール（南米共同市場）の一員であることが日本の関心を喚起したことである。（クラリン紙）

○ホテル、最後の仕上げ

アルベアール・ホテルでは天皇がブラジルでお茶とブリオッシュ、ハチミツとバターの朝食を所望されたと知った。アルベアールに対しては特にご注文はなかったがホテル側はバターとハチミツを調達した。また、両陛下や随員18人の希望があったときに備えて日本茶も用意。日本語の通訳も5人雇い、従業員にも30の基本的文章を教えた。スイートには200kgの水槽が備えられ、パンパにおいて「パビートス」と呼ばれる魚20匹が入れられる。（クラリン紙）

6月10日（火）付ブエノス・アイレス

○両陛下、ブエノスの街に

日本の天皇・皇后両陛下はメネム大統領及び約30,000人の日系社会との会見を目的とした3日間のご訪問のため、アルゼンティンに到着された。

両陛下は空港にてギド・ディ・テラ外相夫妻をはじめとする代表者の出迎えを受け、両国国歌が軍楽隊によって演奏される中、4名の日本人女子から花束を手渡された。

メネム大統領は1993年の日本訪問の際、両陛下にお会いしており、一方、両陛下は30年前、皇太子・同妃両陛下時代にアルゼンティンを訪問されている。

ディ・テラ外相は今回の両陛下ご訪問を日亜両国の良好な関係を表していると強調。また、日本はアルゼンティンの新たな政策モデルに信頼を寄せた最初の国のひとつで



アルゼンチン共和国の
国民ならびに政府は、
天皇・皇后両陛下の
歴史的なご来訪を
心より歓迎いたします。

修好通商航海条約の
締結百周年を来年に控えて。



Argentine Republic

日本では 日本経済新聞（6月9日付）に全面広告

あり、日本企業はアルゼンティンに投資をしているとつけ加えた。

(ブエノス・アイレス・ヘラルド紙)

6月11日(水) 付ブエノス・アイレス

○両陛下と日系人

昨日の両陛下の日系人との懇談は、両者にとって特別な意味を持つものであった。30年前に訪れ、気にいられた国に、今度は陛下としてまた戻ってこられた。

3万人強の日系人のうち、1,400人が出迎え、日本庭園に10ドルの入園料を払って入り、辛抱強くご到着を待った。天皇は、戦後は国の統合の象徴として現代民主主義国家たる日本において重要な役割を果たしている。陛下が元気であるようにとおっしゃると、特に老いた日系人は感激し、一生に一度でも陛下に会えたことは夢のようだと語った。

今回のご訪問を日系人は修好100周年記念事業の口火を切るものと捉えている。陛下がご訪問に際し、当国の代表的な文化人、科学者とお会いになったことは、政治経済のみならず両国の幅広い分野での交流を活発にすることに寄与するであろう。(ラ・プレッサ紙)

○全閣僚が両陛下歓迎に集まる—— 両国間の友好関係を確認

昨日、天皇・皇后両陛下は、メネム大統領公邸のアルマス広場にてご会見され、来年1998年の日亜修好100周年記念を前に、両国間の友好関係の絆を強固にし、相互理解を深めることに同意した。同広場には夫人同伴の各大臣及び副大統領も集まった。両陛下は、大統領及び大統領令嬢との写真を撮り、正午前に公邸をご出発された。

(ラ・ナシオン紙)

○公式行事びっしりの両陛下の亜国ご訪問

余りの極端なプロトコールには多くの人が驚いた。特に今回のご訪問により祝日を移動される話まで出たほどであった。

昨日、日系人は両陛下との懇談会に入場するため、日本庭園に整然と4時間も列を作ったが、これは、行儀の良い日系人社会の良い面の現れであったと言える。両陛下はサンマルティン広場における献花から公式行事を開始。それからオリーボス宮殿に場所を移し、メネム大統領とスレマ・エバ令嬢からお出迎えを受けられた。

大統領より歓迎の言葉が述べられた。『1898年に日亜が外交関係を開始した時期、アルゼンチンは大変日本びいきでありました。来年の日亜修好100周年を控え、わが国に両陛下をお迎えできることは大変な喜びであり、名誉であり、誇りであります』。大統領は1905年の日露戦争においてアルゼンティンがイタリアにて建造中であった2隻の戦艦を日本に譲り、日本を支援した。同戦争に勝った後、日本は似たような戦艦を2隻アルゼンチンに贈り、この2隻はモレノとリバダビアと名付けられた。今でもこ

の出来事は日本において記憶されている。これに答えて、天皇陛下も再び亜国を訪れることができ大変喜ばしいことであり、今次訪問が両国間の理解を深めることを期待していると述べられた。(アンビット・フィナンシエロ紙)

○魚への情熱

陛下は自然科学博物館をご訪問になり、30年前にお会いになった学者の内の1人にもお会いになった。熱心に見てお回りになり、18人の学者とプラスチックの椅子に座って懇談された。一方、皇后陛下は聖心学園をご訪問になった。(クラリン紙)

現地からの手記

ふたたび、両陛下にお会いして

ヴィオレッタ・シンヤ

(元 W.H.ハドソン博物館長
元 ブエノス・アイレス大学文学部教授)

10日、アルゼンチン・ヨット・クラブで、天皇・皇后両陛下に再びお会いする幸運に恵まれました。美智子皇后陛下は、前回のご訪アのとき、私の大伯父、ウィリアム・ヘンリー・ハドソンや、彼の作品の訳者である寿岳さんの話をしたことを覚えていて下さいました。この喜び、そして限りない感動を(社)日本アルゼンチン協会のみなさまにお伝えしたいと思います。

このことは、1904年から、連綿として日本をアルゼンチンに近づけようと努めていた私の父、ヨシオ・シンヤの足跡を追い求めてきた過去65年にわたる私の努力が、決してムダではなかったという思いにつながります。

常に日本とアルゼンチンが、文化を通じた人的交流により、結合の絆が、さらに、強固になるよう、心から願っています。

註：(ヴィオレッタ・シンヤさんと寿岳さんの詳報は、当協会会報第14号をご参照)

日アを結ぶタンゴ

6月10日、よる両陛下を迎えたメネム大統領の歓迎晩餐会のあとの催しものに、タンゴが演奏された。

大統領の特別の計いで、バンドはラ・チカーナ、歌手 ドワーレス・ソラー、ダンサー ルイス・ソラナスとセシリア・トロンコッソと、アルゼンチンの最高のメンバーによる熱演であった。演奏された曲目は、1. ポル・ウナ・カベサ 2. デュルセ・ハボン 3. バルドサ・フロハ 4. ミロンガ・デ・ミス・アモーレス 5. コモ・ドス・エストラニョス 6. エル・チョコロ 7. ケ・ケレス・コン・エセ・ロロ。

タンゴはこの夜、日本とアルゼンチンを結ぶ絆として、一段と光彩を放っていた。

天皇・皇后両陛下をお迎えして

光 田 正

在ア日系団体連合会歓迎委員
(日ア・ペヘレイ会長)

30年ぶりに再度アルゼンチンを訪問される天皇・皇后両陛下をお迎えする亜国官民又、在亜日系人の期待、よろこび、感動は現地にいなければ分らない程大きなものでした。歴史的に見ても、日本の天皇陛下のご訪問は画期的な出来事だったのでした。

私は全日系人で組織された歓迎委員会の一員としてお迎えし、又光栄にも直接両陛下とお会いできる機会に恵まれました。



日系人歓迎会における筆者（写真提供 共同通信社）

例えば、1967年、両陛下が皇太子、同妃両殿下としてご来亜された時「ペヘレイ日本移殖有志期成会」のメン

バー 6名の1人として始めて両殿下にお会いしました。その時から陛下はペヘレイに関心をもたれ、帰られてから神奈川県の水産試験場をご訪問、ペヘレイの養殖状況を視察され、又、東宮御所の池にもペヘレイを放流され研究されるなどご関心の深さを示されました。

本年6月9日アルゼンチンにお着きになられた両陛下は、翌10日、思い出深い日本庭園（30年前ご訪問を記念して造園）を訪問され、そこで全日系人による歓迎式典に臨まれたのです。

庭園にある茶亭の2階サロンには日系社会から選ばれた160名の方々が出席、又、その中から10名の人々が更に代表者として選ばれ、直接陛下と言葉を交わす栄に浴しました。

日本庭園には1時間余り滞在され、その後、これも30年前に訪問された「ベルナルデイノ・リバタリア自然科学博物館」に陛下だけ移られたのですが、ご在館も2時間に及ぶもので、魚類学者としての陛下のご関心の深さが伺われました。

ご訪問中、館内を一巡され、専門家から説明を受けられ、又後で15名の各分野の魚類学者と懇談されましたが、ご案内役の1人ベジシオ博士から次のようなお話を伺いました。

館内の展示品で特に注目されたのは、南極に近い海に生息する珍しい魚類ですが、陛下からは展示品について、生物学的な面から実に的確なご質問とご意見がなされ、深い感銘を受けたとの事です。又大きな一つの部屋には、アルゼンチンの代表的な海水、淡水の魚の剥製が沢山展示されてあり、その中に混って紅一点というか唯一つ外

国製のもので人々の注目をひいています。その剥製は日本のペヘレイで、安田養魚場産のもの。出来上がりは見事で、その魚の下にはちゃんとした説明書がつけられています。

このペヘレイは博物館長のたつての願いで、6年前、ペヘレイ日本移殖25周年のお祝をしたとき、安田直弘氏（当協会監事）がわざわざ日本から持参下さり、日亜ペヘレイ協会の名で寄贈したものです。

陛下はご巡回の途中剥製に目をとめられ、感慨深くご観察なされたとのことでした。

アルゼンチン政治・経済速報

東銀リサーチインターナショナル

小林 晋一郎

◎政治・経済

- 6月26日、政府は週刊誌「ノティシアス」のカメラマン殺害事件で疑惑の渦中にある実業家ジャブランとの関係が問題視されていたハサン法務大臣の辞任を発表、後任にオカンボ駐米大使を任命した。警察当局は、殺害を命じたと疑われているジャブランの事務所からハサン法務大臣とコラチ内務大臣の電話に何回も通話があったことを明らかにしている。ジャブランは民間郵便会社OCA社などを経営しておりカバロ前経済大臣とも激しく対立している実業家である。
- 97年5月の月間工業生産指数が前年同月比6.2%となり96年4月以降14か月連続してプラスを記録した。業界別に見ると、農業、自動車、タイヤが好調である。
- 97年の民営化案件の目玉である郵便事業民営化の入札予定者は6グループであったが第一次選考の結果3つのグループ（サムエル・リーベルマン・グループ、マクリ・ガリシア銀行グループ、スペイン・テレフォニカ社グループ）が残った。各グループにはそれぞれドイツ、イギリス、ニュージーランドの郵便事業者が技術顧問として参加している。また銀行にとっては全国にある6000の郵便局を銀行のネットワークに加えることに関心があると見られる。入札結果の発表は7月26日の予定。ジャブランの経営する民間郵便会社のOCAは入札に参加しなかった。
- スペインのサンタンデル銀行はブエノスアイレスに本店を置く大手地場銀行リオ・デ・ラ・プラタ銀行の株式35%を購入、経営権を取得した。カナダのノヴァ・スコシア銀行はアルゼンチンの民間銀行キルメス銀行の株式25%を保有していたが更に70%を追加取得することで両行間で合意が成立したことが明らかになった。香

港上海銀行はロバーツ銀行を買収。スペインのビルバオ・ビスカヤ銀行はフランス銀行を買収、その後、フランス銀行はクレジット・アルヘンティノ銀行を買収しアルゼンチン最大の民間銀行が誕生した。外国銀行による国内銀行の買収の結果、アルゼンチン民間銀行大手10行の内純粋国内資本の銀行はガルシア銀行1行のみとなった。

- スペインのアスナル首相が4月、アルゼンチンを訪問メネム大統領と会食を行なった。キューバ問題、2004年オリンピックのブエノスアイレス開催、マタドル債（スペイン・ペセタ建て外債）の発行などが話題となった。
- 4月2日、格付会社スタンダード・アンド・プアーズ社はアルゼンチン政府発行の外貨建て国債の格付けを「BB-」から1ランク上の「BB」に引き上げると発表した。経済指標（96年）のアルゼンチンと「BB」格付け諸国の平均との比較は以下の通りでアルゼンチンの経済ファンダメンタルズは良好である。

項 目	BB 諸国平均	アルゼンチン
一人当たり GDP	3,473	8,300
投資対 GDP 比率 (%)	21.3	19.7
GDP 成長率	3.0	4.4
物価上昇率 (%)	15.1	0.0
失業率 (%)	10.9	17.3
財政収支対 GDP 比率 (%)	- 1.9	- 1.8
政府債務対 GDP 比率 (%)	43.4	36.1
経営収支対 GDP 比率 (%)	- 1.9	- 1.3
対外債務の対輸出比率 (%)	364.5	332.4

ちなみにラ米諸国の中でアルゼンチンは、つぎの通り第4位のメキシコと肩をならべた。

ちなみにラ米諸国の中でアルゼンチンは、つぎの通り第4位のメキシコと肩をならべた。

- | | | | |
|--------------|-----|----------------|------|
| 1. チリ | A- | 2. コロンビア | BBB- |
| 3. トリニダド・トバゴ | BB+ | 4. メキシコ、アルゼンチン | BB- |

○米国政府は4月17日、アルゼンチンの医薬品分野での特許権等知的財産権保護のための立法措置が不十分であるとして、117品目の特惠関税の撤廃を発表した。制裁対象品目は化学製品、化粧品、機械類、自動車部品、家具、毛皮、革製品、農水産品、ガラス製品さどである。対象品目の金額は96年の米国・アルゼンチン間の貿易実績で見るとアルゼンチンの対米輸出の11.4%を占めるにすぎず、制裁は経済的効果より政治的効果を狙ったものと言えよう。

○メネム大統領は5月のアルゼンチン銀行大会でメルコスル統一通貨創設を検討すべきだと語った。これは先にフェルナンデス経済大臣の同様発言に続くものである。

○ダボス会議で知られている世界経済フォーラムが毎年発表している世界各国・地域の競争ランキングの97年報告でアルゼンチンは前年と同じ37位であった。ラテンアメリカではチリ13位、メキシコ33位のほかペルー40位、コロンビア41位、ブラジル42位、ベネズエラ47位となっている。日本はチリより下の14位である。

○バリロチェの由緒あるホテル・ジャオジャオは長年閉鎖されたままであったが90年に政府は売却することを決定、91年にジャオ・ジャオ・ホールディング（シティーコープなどが株主）が落札し、93年に営業を再開した。シティーコープの投資戦略の変更から6月にジョージ・ソロスの投資会社IRSAがホテル・ジャオ・ジャオを購入した。

○アンディナ財団は対アルゼンチン外国国債投資で94年から97年までの実績に2003年までの投資予定を纏めて発表した。94年から2003年までの直接投資総額は350億ドルで投資国では米国、スペイン、カナダ3か国で65%を占めている。日本は1億9千750万ドルで0.6%のシェアにすぎない。投資分野では自動車、食品、化学・石油化学、鉱業、エネルギーが多い。主要国の投資額は次の通り（単位：百万ドル）。

米国12,732.6、スペイン6,416.4、カナダ2,872.4、フランス2,320.2、イタリア2,318.7、チリ2,257.2、英国1,836.9、ドイツ865.4、ブラジル477.7。

○アルゼンチン食肉の対米輸出は米国政府内の手続きを終了、2万トンの食肉が8月から米国向けに輸出開始可能となった。

◎日ア経済関係

大来財団日本評議会委員会事務局長

(大来Ⅱ調査チームメンバー)

齊木茂治

○大来財団の活動 (財)国際開発センター河合会長叙勲

会報第15号にてご紹介した通り(財)国際協力事業団(JICA)の委託を受け1994年7月～1996年6月にかけてアルゼンチン第2次経済開発調査(通称大来Ⅱ調査)を実施(アルゼンチンにては大来財団が民間のコーディネーターとしてこれに協力)結果、同調査報告書がア国政府の大いなる評価を受け、1996年11月に同センター河合三良会長(大来財団日本評議会委員会世話役)宛にメネム・ア国大統領より感謝状を頂戴した。

ついで今回ア国政府より河合会長に「オルデン・デ・マージョ・グラン・オフィシャル勲章(和訳:5月功労章)」が授与されることになり、7月23日に在日ア国大使館での叙勲式が執り行われ、サンチス・ムニョス大使より河合会長に授与された。叙勲式にはJICA、IDCJをはじめ、大来財団日本評議会委員会委員/同事務局幹部、(社)日本アルゼンチン協会等関係者多数が参集し同氏の榮譽を祝った。

タンゴ物語(最終回)

◎ 大統領への直訴

津田正夫

それで私はとにかく私の車に三人を乗せて大統領政庁に向かった。

大統領政庁でいつも車の扉を開ける金モールの肩章をつけた男が、私に挨拶すると共に、私に続いて出てきた三人を見てキョトンとしていた。彼とてキンケラ、フィリベルト、カナロを知らない筈はない。しかしその三人がなぜ私の車に乗って来たのか分らなかったらしい。

私は三人を連れて大理石の階段を上がり、エレヴェーターのところに行ったら、その係のものも私と三人の組合わせに驚いたらしい。エレヴェーターを降り、秘書室に入り、それから大統領武官室を通して秘書官室に入ったら、秘書官は、「大統領がお待ちです」

と云う。やれやれ、と思って改めて三人の来意を説明し、「私の中には入れませんから三人をよろしく」と云ったら、三人はあわてて、「一緒に入れてくれ」と、世にも情けない顔をして私の腕を掴む。仕方なく私は秘書官に「今日はタンゴの愛好家として三人と行を共にしたと大統領にお伝え下さい」と頼んで一応その椅子に腰を下ろした。私は勧められるままにコーヒーを飲んだが、三人は固くなってか、

コーヒー茶碗を手にしな。あれほどの有名なこの三人が、と私はちょっと呆れてしまった。

そのうちに扉が開いて秘書官が、どうぞ、と言うので私は三人をうながして大統領室に入り、「御存知と思いますが」と云って三人を紹介した。大統領は一人一人と握手して「今日は、マエストロ（巨匠）」と云い、「こんな有名な方々にお会い出来るなんて、光栄です」と云って三人に席を勧めた。

さすがはキンケラ・マルチン、各国で展覧会を開き、その都度その各国の元首にも会っているので代表格でその時はもうすっかり落ち着いてまずタンゴの現状を説明し、国家の補助なしではタンゴは亡びてしまう、とこと細かに説明、カナロも、興業が成り立たない、オーケストラのメンバーも、金のためには心ならずも外に走ってしまう、と訴えた。

◎ タンゴはブエノスアイレスの魂

そのときだった。フィリベルトが突然口を開いて、何か云おうとして、「チェ アルトウロ」と大統領に呼びかけた。「チェ」とは「あのネ」とか「おい」位の呼びかけの言葉だが、大統領の親友でもない人間が大統領に向かって云うべき言葉でないし、アルトウロはフロンディシ大統領の名だが、陳情に来たものがしかも初めて会う人、殊に相手が大統領だから、仲良しの友達に向かって云うように、その人の名で呼ぶのは失礼千万な話だ。これにはキンケラもカナロも驚いてあわててフィリベルトを制止したが、当のフィリベルト、なんで自分の発言を止めたのかわらず、一瞬彼もキョトンとした。それをみた大統領がすかさず、くだけた調子で、「なんだい、ファン」（名曲「カミニート」の作曲家であるフィリベルトはファン・デ・ディオス・フィリベルトだから、相手がアルトウロと名を呼んだので、大統領もファンと云ったのだ）

と云ったので、瞬間ハッと緊張したその場の空気も和らぎ、侍立していた武官や秘書官の顔に微笑みが見えた。今思い出してもその時のフィリベルトの顔、何が可笑しいんだというケロリとした表情が娑婆っ気ない、枯れ切った彼らしい表情だった。

とにかく大統領が、「なんとか考えましょう、タンゴはブエノスアイレスの魂ですからネ」と云う言葉に満足して我々は立ち上がったが、そのとき大統領が私に向かって、「あなたはあの三人とどういっておつきあいか」と訊いたので、大統領も三人との会見中そのことが頭にあったらしい。

会見をおえ、5月広場近くのカフェに腰を下ろしたとき、キンケラはフィリベルトに向かって、「おまえだからあの場はあれで収まったが、おまえはよく大統領に『ピーベ』と云わなかったネ」といって大笑いした。「ピーベ」とは子供という意味で、年下のものに対しよく云う俗語だ。しかし決していくら自分より年下だといっ

そのときカナロが、

「俺はフィリベルトからみればピーベだ。しかも俺よりフロンディシ大統領はずっと若い。フィリベルトは大統領に向かって、よくモコツソ（鼻っ垂れ）と云わなかつたナ」と云ったので、また四人で大笑いした。

そのときカフェに警官が入って来て、スタンドでコーヒーを飲んでいて。警官は何時も無料でコーヒーが飲める。その警官がコーヒーを飲みつつ我々四人のいることに気づき、コーヒー茶碗を置いて、両方の靴をカチンと鳴らして我々の方に最敬礼して立ち去った。そのあとで皆が、誰に敬礼したのだろう、という話になった。カナロが、あれは大使に向かってだよと云うから、私は「あの警官は私がどこの馬の骨だか知りはないよ」と云うと、今度はフィリベルトが、「あれは俺に向かってだよ」と頑張るのでまた大笑いになった。(完) (筆者(故人)は元駐ア大使)

事務局からのお願い

「個人正会員および個人賛助会員」募集

個人会員制度の概要は次のとおりです。

- ① ☆正会員（定款上総会の構成員。議決権有り） 年会費 ￥10,000
☆賛助会員（定款上総会には非構成員。議決権なし。
その他は原則として正会員に準ずる） 年会費 ￥5,000
- ② 会報：当協会の発行する「会報」を年4回お届け（無料）することにより、日ア間の最新情報を政治、経済、文化などに亘って提供します。
- ③ 文化活動ないし演奏会などの催物のご案内、割引案内を行い、ご希望の分野にご参加（実費徴収）いただきます。
- ④ 定例総会のほか「親睦会」を開催し会員相互および在京大使館との交流を計ります。アルゼンチンに関心の深いご友人、関係先の方々を、是非ともご勧誘ください。事務局にご一報あれば加入申込書を、ご本人あて郵送いたします。
- ⑤ 郵便局振込口座 00120 - 6 - 581381 ⑥ 第一勧銀本店 普通001 - 44891793

ブエノス・アイレスのアメリカン・スクールへの入学

ブエノス・アイレス市に在留する商社、メーカー等の駐在員の子弟のうち小中学生については、殆どの方が日本人学校に通学しており、高校生については、当地のアメリカン・スクールに入学しています。

ところが最近一部父兄の間でアメリカン・スクールへ日本人学生の入学が困難と

なっているので、在ア日本大使館が調査しました処、つぎの事情が判明しました。

つきましては、アルゼンチンに赴任される商社員等の中には、高校生を同伴して来られる方がおられますが、当地のアメリカン・スクールに入学するためには下記1～4の事情があり、英語の実力がなければ入学が難しい状況にあることを充分お含みおき願います。

1. 現在高等部には270名、中等部230名の生徒が在籍しており、定員一杯でこれ以上の入学は物理的に認められない状況となっている。学校ではこれらの状況を打開するため、来年の完成を目指して現在校舎を増築中であり、これが完成すれば、更に30名程度（中学部については若干名）の生徒の増員が可能となる。
2. 但し、受け入れにあたっては次の優先順位により入学を認めているので、申請しても希望者が多ければ入学できない場合もある。
 - (1) アメリカ人
 - (2) 世界各国にあるアメリカン・スクールからの転入者
 - (3) その他の学校からの転入者
3. 英語の出来ない者のためのESLクラスは高等部では、授業が高度になるので、設けておらず、9年生のクラスにのみあり他にはない。
4. 中高等部では、英語圏以外の国からの入学希望者には、英語と数学の試験を受けさせており、合格点に達しない場合は、入学が許可されない。

(在ア日本大使館より)

平成9年度当協会の第41回通常総会報告

前号でご案内の通り、平成9年度当協会の第41回総会（兼理事会）が平成9年5月21日（水）午後2時半より、日比谷ダイビル4階会議室において開催された。実出席42名（他に委任出席41名）が参集し、前年度決算報告、本年度事業計画及び同予算案等が原案の通り承認決定されました。

同総会において、理事及び監事の改選（2年毎）が行なわれ、ほとんどの理事が留任されましたがご退任は次の方々と、当協会の運営面におけるご尽力に対し、紙面をかり御礼申し上げます。

- 理事 和久本 芳彦（東芝 専務取締役）
- 理事 松 島 宏（住友商事 理事）
- 理事 鈴 木 銀生（日本電気 取締役支配人）
- 理事 箭 内 陽（三井物産 海外統括部長）

なお、同席上で土屋名誉顧問（現埼玉県知事）よりの祝電が披露されました。又、議案審議に先立って、斎藤英四郎会長より、1998年は日ア修好100周年に当たるの

で、会員各位はこれを念頭におかれて、なお、一層のご協力及びご支援をお願いしたい旨のご挨拶がありました。

平成9年及び10年度の役員、理事等は次のとおりです。(敬称略・順不同)

会 長	齋 藤 英四郎	新日本製鉄(株) 相談役名誉会長
副 会 長	近 藤 四 郎	元 駐アルゼンチン大使
	近 藤 鎮 雄	大阪商船三井船舶(株) 相談役
専務理事	藤 本 芳 男	財団法人世界の動き社 理事長
	野 村 秀 治	元 ロサンゼルス市港湾局 在日代表
理 事	高 垣 佑	(株)東京三菱銀行 頭取
	宮 地 隆 夫	三井物産(株) 業務部国際業務室長
理 事	風 間 孝 晴	元 国際協力事業団 理事
	山 川 尚 義	三菱商事(株) 米欧業務室長
理 事	桑 田 芳 郎	(株)日立製作所 常務取締役
	堀 部 雍 夫	(株)東芝 総務部 国際関係主監
理 事	山 根 正 彦	住友商事(株) 対外企画部 部長
	渡 邊 晴 郎	丸紅(株) 常任顧問
理 事	高 野 尚 彦	伊藤忠商事(株) 顧問
	近 藤 尚 武	日本郵船(株) 取締役
理 事	今 永 文 男	日本水産(株) 相談役
	大 隈 信 幸	日本ウルグァイ協会 会長
理 事	佐 藤 和 男	大阪商船三井船舶(株) 常務取締役
	上 田 将 雄	川崎重工業(株) 相談役
理 事	西 岡 稔	ダイビル(株) 専務取締役
	稲 積 紀 樹	日本電気(株) 取締役支配人
理 事	土 屋 桃 子	ジャパン・アート・ルネッサンス協会理事長
	山 本 学	上野学園大学教授
理 事	山 下 洋二郎	住友海上火災保険(株) 常務取締役
	斉 木 茂 治	大来財団日本評議委員会 事務局長
理 事	小 宅 庸 夫	中部電力(株) 顧問
	塩 見 憲 一	(株)東京三菱銀行 中南米部長
監 事	安 田 直 弘	(株)安田 代表取締役
	土 屋 義 彦	埼玉県知事
名 誉 顧 問	薄 井 康 夫	元 国際コンテナ輸送(株) 社長

文化行事のお知らせ

◎アルゼンチンの恐竜と自然展

日 時：7月5日（土）～9月15日（月）（休館日月曜、一部変更有）

場 所：ミュージアムパーク茨城県自然博物館

入場料：大人710円 高・大学生430円、小・中学生140円

講演会：「アルゼンチンの自然と博物館」8月17日（日）14：00

講 師：ウォルフガング・オルフハイマー博士（アルゼンチン国立自然科学博物館長）

連絡先：☎0297 - 38 - 2000 茨城県自然博物館

◎タンゴ・ブエノス・アイレス日本公演

日 時：8月29日（金）～10月12日（月）14：00と19：00

（又は12：00と16：00）

場 所：ホワイト・シアター（国立代々競技場オリンピック・プラザ）

交 通：JR原宿駅、千代田線 神宮前駅下車 徒歩5分

出 演：オルケスタ・ワルテル・リオス（13人）

ダンス・ペア 11組（22人）

入場料：SS席10,000円、S席8,000円（全指定席、税込）

（当協会員は15%割引、ご希望者には割引申込書を送付します）

主 催：フジテレビジョン 後援：アルゼンチン共和国大使館 他

連絡先：タンゴ・ブエノス・アイレス日本公演事務局 ☎03 - 5500 - 8269

◎アルゼンチン・タンゴ・ディナーショーとタンゴ・パーティー

日 時：9月19日（金）18：00～21：30

場 所：高輪プリンス・ホテル（プリンス・ルーム）

出 演：アルベルト・ガルセスとオルケスタ・カバジェロス

ダンス ビクトル・アヨスとモニカ他 歌 ルベン・リナレス他

入 場：35,000円（ディナー付、税込、当協会員は33,500円）

主 催：中部日本放送／コンサートマジック

連絡先：コンサートマジック ☎03 - 3235 - 3777

◎銀盤の魔術師エンリケ・クッチーニのタンゴ演奏会

日時・場所：9月27日（土）14：00～18：30 豊島区公会堂

10月 3日（金） “ ” 江戸川区文化センター

10月 4日（土） “ ” 川崎市教育文化センター

10月24日（金） “ ” 新宿文化センター

入場料：各会場とも¥3,000円（当協会員2,500円、全自由席）
連絡先：03 - 3726 - 4950 国際文化交流協会（原田直二 当協会員）

◎池田光夫 タンゴ演奏会

日 時：9月30日（火）18：30開演
会 場：川崎市麻生区市民館大ホール（小田急線新百合ヶ丘駅前）
出演者：演奏 池田光夫とロス・アミーゴス 歌：冨木 杏奈
ダンス：マヌエル&リリアナ 司会：志麻夕起夫
主 催：日本タンゴ演奏家協会（代表 池田光夫）
入場料：4,000円（当協会員は1割り引きの3,600円）
後 援：アルゼンチン共和国大使館、（社）日本アルゼンチン協会 他
連絡先：03 - 3489 - 2519（池田光夫 当協会員）

◎情熱のタンゴの世界へ 小原みなみ（チャリティ・コンサート）

日 時：10月21日（火）19：00開演
場 所：鎌倉芸術館小ホール
演 奏：岡本 昭とタンギシモ 他ダンス・ペア1組
入場料：4,800円（全自由席）
後 援：アルゼンチン共和国大使館、（社）日本アルゼンチン協会 他
主 催：オフィス小原（代表 小原みなみ 当協会員）
連絡先：045 - 712 - 0066、045 - 712 - 0097

◎ドナート・ラシアッティ来日10周年記念タンゴ・コンサート

- ・日 時：10月20日（月）13：30～16：00
場 所：創価大学（八王子）
入場料：無料
- ・日 時：10月23日（木）18：30～20：30
場 所：日本経済新聞社（大手町日経ホール）
入場料：未定（当協会員1割引）

上記連絡先：☎03 - 3791 - 1519 日亜教育文化促進会（木田寿司 当協会員）

◎ 第9回長田小学校「アルゼンチンの日」の集い

6月7日（土）境町立長田小学校（茨城県猿島郡）において、恒例の第9回友好親善記念日の集いが開催され、アルゼンチン大使館よりベレローソ代理大使夫妻、ゴメス参事官、当協会より専務理事等が出席した。まず、アルゼンチン国歌演奏（テープ）の後、同校生徒による「野本作兵衛氏を偲んで」作文の発表、音楽

演奏、カミニート（和、西両語）の斉唱が行なわれた。

長田小学校とアルゼンチン大使館との結びつき（会報第6号及び第9号のドン・サグベイ・ノモト特集号参照）は、昭和9年まで遡る長い歴史、経緯があり、同小学校は、歴代の駐日アルゼンチン大使と60余年間の友好親善関係を継続しており、毎年6月2日を「アルゼンチンの日」として記念の集いを続けている。



第9回長田小学校「アルゼンチンの日」

◎ア国製新作ビデオ「エバ・ペロン～エビータの真実」試写会

アルゼンチン映画「エバ・ペロン」（ビデオソフト）の試写会が、さる7月16日、けやきホールで開催され、多くの聴衆はエビータに扮したアルゼンチンの大女優エスター・ゴリスの迫真の演技に感動した。

上映に先だって、アルゼンチン音楽著作権協会駐日代表的場博子氏（当協会員）、アルゼンチン大使館文化担当参事官M.ゴメス・アギーレ氏および当協会野村専務理事により、作品解説やエバ・ペロンの実像を披露した。

お知らせ

◎日本アルゼンチン修好100周年記念事業組織委員会 委員長に諸橋さん決定

来年迎える日本アルゼンチン修好100周年の記念事業組織委員会の委員長に、三菱商事会長で、日ア経済委員会日本国内委員会会長の諸橋晋六さんがこのほど決定した。

この委員会は外務省、通産省、経済5団体（日本商工会議所、経済団体連合会、日本経営者団体連盟、経済同友会、日本貿易会）および民間企業よりなる、いわゆる官民合同の組織委員会で、100周年記念事業の企画と実施、募金活動、広報活動などを行うもので、ちかく正式に発足する運びになっている。

◎新刊書「大草原の呼び声」の紹介

著者江藤正喜氏（当協会員）は、博物学者兼作家のウィリアム・ハドソン博物館を訪問するなど、アルゼンチンに2年半勤務された体験にもとずいて面白く書かれておりますので、一読をお勧め致します。

目次の概要：第1章 花の街 ブエノスアイレス（花、樹木の紹介）
2章 アルゼンチンのフォルクローレ（ユパンキ）
3章 アルゼンチンの郷土料理 6章 大草原の鳥たち
7章 バンパの自然児ガウチョ 等、第10章まで

発 売：(株)近代文芸社 〒112 東京都文京区目白台2-13-2

TEL 03-3942-0869、 FAX 03-3943-1232

定 価：本体1,400円+税（ご希望の方は当協会でご覧出来ます）

◎当協会の会費納入について

平成9年度会費（法人会費、個人正会員、賛助会員）につきましては、既に請求書を夫々の会員各位宛に送付させて頂きましたので、未納の方は宜しくお願ひ申し上げます。

人 事 往 来

（平成9年4月～7月）

1. 訪 ア

天皇・皇后両陛下 6月9日～11日

2. 来 日

アルゼンチン海軍演習艇「リベルター」号 4月18日～5月5日

（国際帆船レース「セイル大阪」）

ルカウ副大統領（上院議員） 5月16日～22日

（参議院創設50周年記念式典及び上院議員会議）

新里孝徳 第38回海外日系人大会アルゼンチン代表 5月12日～17日

菅井栄四 日本力行会創立100周年記念式典参加 4月中旬～5月中旬

ハンドボール・ナショナルチーム 5月17日～6月1日

（世界選手権熊本大会）

3. 外務省人事異動（就任日付）

田中 克之 中南米局長（前 サンパウロ総領事） 5月12日

島内 憲 中南米局外務参事官（前 広報担当参事官） 5月1日

水之上 正史 中南米第一課長（前 開発協力課長） 7月10日

あ と が き

次号（第18号）は10月下旬発行予定です。会員各位の投稿、ご意見をお待ちしています。